

# 授業時間割 1年前期

平成17年4月12日～平成17年7月29日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金						
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4								
		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10			
4	4					5					6					7					8	入学式						
	11	オリエンテーション				12	医と社会		医と社会	13					14					15	全学教育							
	18	人間生物学			細胞生物学	19	医と社会			20	全学教育				21	全学教育				22	全学教育							
	25					医と社会		26			医と社会	27					28					29	みどりの日					
	2									3	憲法記念日				4	国民の休日				5	こどもの日				6	全学教育		
9					10	医と社会				11					12					13								
16					17	医と社会				18					19					20								
23					24	開学記念日休業				25					26					27								
30					31	開学記念日休業				1					2					3								
6	6					7	医と社会				8					9					10	全学教育						
	13					14	医と社会				15	全学教育				16	全学教育				17	全学教育						
	20					21			原爆医学概論	医学は長崎から	22					23					24							
	27					28					29					30					1							
7	4	人間生物学				5	原爆医学概論		医学は長崎から	6					7					8								
	11	原爆医学概論		医学は長崎から	12			13						14					15									
	18	海の日				19					20					21					22							
	25	試験期間				26	試験期間				27	全学教育試験期間				28	全学教育試験期間				29	全学教育試験期間						
8	1	夏季休業				2	夏季休業				3	夏季休業				4	夏季休業				5	夏季休業						
	8																											
	15																											
	22																											
	29																											
9	5	夏季休業				6	夏季休業				7	夏季休業				8	夏季休業				9	夏季休業						
	12																											
	19																											
	26																											

※試験期間: 7月19・25・26日

# 授業時間割 1年後期

平成17年10月3日～平成18年3月31日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金																			
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4																
		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10		8:50 \$ 10:20	10:30 \$ 12:00	13:00 \$ 14:30	14:40 \$ 16:10																
9	26					27					28					29					30																				
10	3	人間生物学	人体構造系 I			生物化学	医学統計学	生物・化学実習			全学教育			全学教育				全学教育																							
	10	体育の日																				11					12					13	全学教育				14				
	17																					18					19					20					21				
	24																					25					26					27					28				
	31																					1					2					3	文化の日				4				
11	7					8					9					10	全学教育				11																				
	14	人間生物学	人体構造系 I			15					16					17	休業日(長大祭)				18	休業日(長大祭)																			
	21					22					23	勤労感謝の日				24					25																				
	28					29					30					1					2																				
	5					6					7	全学教育				8	全学教育				9	全学教育																			
12	12					13					14					15					16																				
	19					20					21					22					23	天皇誕生日																			
	26	冬季休業				27	冬季休業				28	冬季休業				29	冬季休業				30	冬季休業																			
1	2					3					4					5					6																				
	9	成人の日				10					11					12					13	全学教育																			
	16	人間生物学	人体構造系 I			17	生物化学	医学統計学	生物・化学実習		18	全学教育				19	全学教育				20	センター試験設営による休講																			
	23					24					25					26					27	全学教育																			
	30	試験期間				31	試験期間				1	全学教育(予備日)				2					3																				
2	6	試験期間				7	試験期間				8	全学教育試験				9	全学教育試験				10	全学教育試験																			
	13					14					15					16					17																				
	20	退官教授記念講演会				21	退官教授記念講演会				22					23					24																				
3	27					28					1					2					3																				
	6					7					8	春季休業				9	春季休業				10	春季休業																			
	13	春季休業				14	春季休業				15	春季休業				16	春季休業				17	春季休業																			
	20					21					22					23					24																				
	27					28					29					30					31																				

※試験期間: 1月30日～2月14日の月曜・火曜

# 医 と 社 会

責任者 高橋 晴雄  
耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉病態制御学）  
内線：3023 E-mail: htak0831@net.

## 1. 教育目標・方針

医学生として図書館の利用法、プライマリヘルスケアから先進医療についてまで幅広い知識を得るとともに、保健学科との共修でチーム医療および患者の立場に立った医療に必要な患者の心の理解、患者とのコミュニケーションを学ぶ。同時に体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面からまた看護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

### 1) 実習

- (1) 病院体験実習
- (2) 病院実習1 長崎大学病院（看護の立場から）保健学科と共修
- (3) 病院実習2 リハビリテーション施設（介護の立場から）保健学科と共修

### 2) 医学テーマ

- (1) 臓器移植・再生医療
- (2) 遺伝子診断・遺伝子治療
- (3) プライマリヘルスケア
- (4) 熱帯医学
- (5) 図書館の利用法
- (6) 感染症とは
- (7) 対人関係
- (8) 病気とこころ

## 3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

## 4. 評価法

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。

## 5. 教員名

授業計画を参照。

医と社会授業予定（1年前期）

グループA

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	12	火	1	医療の歴史と医の倫理	生理1・相川 (保健学科と共修)	臨大
			2	チーム医療とQOL①	保健学科・寺崎 (保健学科と共修)	
			3	患者とのコミュニケーション	総合診療科・大園	
			4	対人関係	非常勤・永田	
4	18	月	4	熱帯医学	熱研・青木	第2
4	19	火	1	チーム医療とQOL②	保健学科 (保健学科と共修)	臨大
			2	プライマリヘルスケア	公衆衛生・青柳	臨大
			3	図書館の利用法	大教センター・長澤 (宮脇)	ポンペ会館
4	26	火	1	チーム医療とQOL③	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	臨大
			2	チーム医療とQOL④	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			3	感染症とは	熱研・有吉、國井	
			4			
5	10	火	1	体験実習1 (長崎大学医学部歯学部附属病院)	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			2			
			3			
			4			
5	17	火	1	体験実習2 (リハビリテーション施設)	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			2			
			3			
			4			
5	24	火	1	チーム医療とQOL⑤	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	臨大
			2	チーム医療とQOL⑥	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			3	病気とこころ	保健学科・太田	
			4	ストレスとこころ	総合診療科・大園	
6	7	火	1	体験実習 (長崎大学医学部歯学部附属病院医局)	耳鼻咽喉科・高橋	
			2			
			3			
			4			
6	14	火	1	遺伝子診断・遺伝子治療	原研細胞・難波	臨大
			2			
			3	臓器移植・再生医療	二外科・兼松・蒲原	
			4			

医と社会授業予定（1年前期）

グループB

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	12	火	1	医療の歴史と医の倫理	生理1・相川 (保健学科と共修)	臨大
			2	チーム医療とQOL①	保健学科・寺崎 (保健学科と共修)	
			3	患者とのコミュニケーション	総合診療科・大園	
			4	対人関係	非常勤・永田	
4	18	月	4	熱帯医学	熱研・青木	第2
4	19	火	1	チーム医療とQOL②	保健学科 (保健学科と共修)	臨大
			2	プライマリヘルスケア	公衆衛生・青柳	臨大
			3	図書館の利用法	大教センター・長澤 (宮脇)	ポンペ会館
4	26	火	1	チーム医療とQOL③	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	臨大
			2	チーム医療とQOL④	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			3	感染症とは	熱研・有吉、國井	
			4			
5	10	火	1	体験実習2（リハビリテーション施設）	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			2			
			3			
			4			
5	17	火	1	体験実習1 (長崎大学医学部歯学部附属病院)	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			2			
			3			
			4			
5	24	火	1	チーム医療とQOL⑤	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	臨大
			2	チーム医療とQOL⑥	耳鼻咽喉科・高橋 保健学科 (保健学科と共修)	
			3	病気とこころ	保健学科・太田	
			4	ストレスとこころ	総合診療科・大園	
6	7	火	1	遺伝子診断・遺伝子治療・分子標的療法	原研細胞・難波	臨大
			2			
			3	臓器移植・再生医療	二外科・兼松・蒲原	
			4			
6	14	火	1	体験実習 (長崎大学医学部歯学部附属病院医局)	耳鼻咽喉科・高橋	
			2			
			3			
			4			

# 人間生物学

責任者 伊藤 敬  
生化学 (生体分子解析学)  
内線 : 2160 E-mail : tito@net.

## 1. 教育目標・方針

これから学ぶ医学を容易に受容できるようにするために、

- (1) 人間のミクロからマクロにいたる諸器官の構造とその生理機能、ライフサイクルおよび分子細胞レベルでの生命活動の基本的知識を学んで、人間という生命の全体像を大まかに俯瞰し、把握する。
- (2) 地球というBiosphere のなかで進化し、社会生活を営む人間は環境と調和して存在しなければならない事を理解する。

人間生物学のカリキュラム上の位置づけは下記の通りである

- 1) 人間という生命の全体像を俯瞰する。
- 2) 医学がどのようなものか大まかにつかむ。
- 3) 地球、環境、社会、健康、病気、心など幅広い分野で問題意識をもち、将来何をなすべきかを考える。
- 4) 人体の構造と機能・代謝の各系を学び易くするとともに、各系がより高度の内容を教授できる。
- 5) 科学及び医学英語になじませ、英語を読み、書き、聞いて話せるようになるための基礎を作る。
- 6) 生物学で受験した人と受験しなかった人の生物学知識レベルを均一にする。

## 2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義 : 講義は教科書の予習を前提として進める。(授業予定参照)

実習 : 7月4日に、終日ラットの全身解剖の実習を行う。

## 3. 教科書、参考書等

Sylvia S. Mader著のHuman Biology 8th Edition (McGraw-Hill Companies)を教科書とするので必ず購入すること。(生協医学部店で取り扱う)

## 4. 評価法

カリキュラム作成と担当教官の人选は人間生物学運営委員会(教官4名、代表伊藤敬教授)が行う。委員会は学生の講義評価を教官にフィードバックして講義内容の向上に努力する。人間生物学の評価は各担当教官によって教科書の内容に従って作られた英文問題の中から委員会が選択して実施する筆答試験による。

7月(教科書の1~227頁、但し3章を除く)と2月(228頁以降、但し16章から19章、23章を除く)の2回に分けて実施する。2月に2回まとめて再試験を行う。講義・実習の出席状況も考慮して、前期と後期の試験をそれぞれ100点とし、合計点が120点以上で、かつ、2回の試験とも50点以上を合格とする。

## 5. 教員名

医学部の教官が分担して講義・実習を行う。

非常勤講師 : 高木正洋(熱帯医学研究所)、溝田 勉(熱帯医学研究所)、三矢泰彦  
大沢一貴(先導生命科学研究支援センター)

人間生物学授業予定（1年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	18	月	1	第1章	科学的方法論（1-14）	3解剖・小路	第2
			2	第2章	原子と分子、水と水素イオン（15-23）	薬剤部・佐々木	第2
4	25	月	1	第2章	有機化合物（24-36）	生化学・伊藤	第2
			2	第4章	組織と器官（57-69）	3解剖・菱川	第2
5	2	月	1	第4章	組織と器官（57-69）	3解剖・江島	第2
			2	〃	ホメオスタシス（70-76）	1生理・松本	第2
5	9	月	1	第5章	消化（77-90）	原研病理・七條	第2
			2	〃	消化（77-90）	原研病理・七條	第2
5	16	月	1	第5章	栄養（91-104）	公衆衛生・青柳	第2
			2	第6章	血液（105-120）	原研内科・塚崎	第2
5	23	月	1	第6章	血液（105-120）	原研内科・塚崎	第2
			2	第7章	循環（121-142）	3内科・瀬戸	第2
5	30	月	1	第8章	呼吸（143-154）	2内科・早田	第2
			2	第8章	呼吸と健康（155-162）	2内科・早田	第2
6	6	月	1	第7章	循環（121-142）	3内科・瀬戸	第2
			2	第9章	泌尿器（163-180）	腎疾患治療部・原田	第2
6	13	月	1	第9章	泌尿器（163-180）	腎疾患治療部・原田	第2
			2	第10章	骨と軟骨、骨格（181-193）	整形外科・松本	第2
6	20	月	1	第10章	関節（194-200）	整形外科・松本	第2
			2	第11章	筋肉、筋肉収縮（201-211）	2生理・藤村	第2
6	27	月	1	第11章	運動（212-220）	2生理・藤村	第2
			2	第12章	神経とシナプス（221-227）	1解剖・森	第2
7	4	月	1		実習説明	生理1・相川	第2
			2		ラットの解剖	生理1・相川、松本 嶋田、藤山	実 (生理)
			3				

人間生物学授業予定（1年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	3	月	1	第12章	中枢神経 (228-235)	1 解剖・森	第1
			2	〃	末梢神経 (236-239)	1 解剖・森	第1
10	17	月	1	第12章	薬物依存、脱髄疾患 (240-246)	1 薬理・丹羽	第1
			2	第14章	内分泌 (269-292)	原研細胞・難波	第1
10	24	月	1	第14章	内分泌 (269-292)	原研細胞・難波	第1
			2	〃	内分泌 (269-292)	原研細胞・難波	第1
10	31	月	1	第13章	感覚 (247-268)	2 生理・篠原	第1
			2	〃	感覚 (247-268)	2 生理・篠原	第1
11	7	月	1	第15章	生殖 (293-297)	泌尿器科・野俣	第1
			2	〃	生殖 (298-314)	産婦人科・増崎	第1
11	14	月	1	第15章	生殖 (298-314)	産婦人科・増崎	第1
			2	第20章	病気の防御 (399-416)	免疫機能・由井	第1
11	21	月	1	第20章	病気の防御 (399-416)	免疫機能・由井	第1
			2	第21章	寄生虫と病原体 (417-440)	免疫機能・由井	第1
11	28	月	1	第21章	寄生虫と病原体 (417-440)	免疫機能・由井	第1
			2	〃	寄生虫と病原体 (417-440)	免疫機能・由井	第1
12	5	月	1	第22章	性病 (441-458)	泌尿器科・野俣	第1
			2	〃	性病 (441-458)	泌尿器科・野俣	第1
12	12	月	1	第24章	人類の進化 (477-492)	非常勤・三矢	第1
			2	〃	人類の進化 (477-492)	非常勤・三矢	第1
12	19	月	1	第25章	生態系 (493-508)	熱研・高木	第1
			2	〃	生態系 (493-508)	熱研・高木	第1
1	16	月	1	第26章	人口問題、環境 (509-526)	熱研・溝田	第1
			2	〃	人口問題、環境 (509-526)	熱研・溝田	第1
1	23	月	1	第27章	生物の多様性 (527-541)	先導生科セ・大沢	第1
			2	〃	生物の多様性 (527-541)	先導生科セ・大沢	第1



# 細胞生物学

責任者 山下 俊一 (代理: 難波 裕幸)  
分子医療部門 (原研細胞)  
内線: 2350 E-mail:

## 1. 教育目標・方針

生きている最小構成単位である細胞を中心に、生命の神秘と大切さを紐解き、遺伝子操作という神への挑戦を、情報伝達の妙を中心に医療・医学の基礎として学習する。生物学や人間学の基礎となる遺伝子情報の構成や機能発現、細胞分裂の不思議、がんを中心とした基礎と臨床の接点、内分泌学などを学ぶ講義である。

## 2. 授業内容 (講義・実習項目)

基本的には教科書の内容に沿うが、各講義によりその内容は多岐に展開し、広範囲な細胞生物学の考えと最新の知見などを紹介する。外国人教官による英語による講義も行なう。

## 3. 教科書、参考書等

人間生物学で使用する教科書「Human Body」を使用する。具体的には細胞構造と機能、染色体の遺伝学、遺伝子と遺伝病、DNAとバイオテクノロジー、がんの各章を担当する。

## 4. 評価法

定期試験は7月に各担当教官により作成された筆記問題をおこなう。100点満点として60点以上を合格とする。

不合格者に対しては、レポート提出のうえ、口頭試験をおこない最終評価とする。

## 5. 教員名

原研細胞 ; 難波 裕幸、Vladimir A. Saenko  
原研分子 ; 永山 雄二  
解剖学第3 ; 小路 武彦

細胞生物学授業予定（1年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	18	月	3	オリエンテーション	生命の基本・細胞	原研細胞・難波	第2
4	25	月	3	第3章	細胞構造と機能（1）	解剖3・小路	第2
5	2	月	3	第3章	細胞構造と機能（2）	解剖3・小路	第2
5	9	月	3	第17章	染色体と遺伝子	解剖3・小路	第2
5	16	月	3	第17章	細胞分裂と減数分裂	解剖3・小路	第2
5	23	月	3	第19章	DNA遺伝子操作（1）	原研分子・永山	第2
5	30	月	3	第19章	DNA遺伝子操作（2）	原研分子・永山	第2
6	6	月	3	第19章	DNA遺伝子操作（3）	原研分子・永山	第2
6	13	月	3	遺伝子発現調節	分子生物学の基礎（1）	原研国際・サエンコ	第2
			4	遺伝子発現調節	分子生物学の基礎（2）		
6	20	月	3	第23章	がんの基礎	原研細胞・難波	第2
			4	第23章	がんの臨床		
6	27	月	3	第16章	発育と老化（1）（2）	原研細胞・難波	第2
			4	第18章	遺伝病（1）（2）		

# 原 爆 医 学 概 論

責任者 朝 長 万左男  
原研内科（分子治療学）  
内線：2340 E-mail:tomomasa@net

## 1. 教育目標・方針

原爆医学概論は、長崎・広島の前爆被爆者を対象とした後障害（後遺症）研究の長年の蓄積に立脚して、放射線による人体傷害の基本を理解するため、長崎大学医学部のユニークなカリキュラムとして平成14年度より導入されたものである。

1945年8月9日、長崎市は世界で2番目の原爆によって壊滅した。医学部の前身の長崎医科大学も壊滅し、900名に近い人的損害を受けた。被爆者は原爆の物理エネルギー（熱線、放射線、爆風）によって急性傷害と、慢性の後障害を被った。以後半世紀にわたり、それらの傷害の医学的研究が継続され、被爆者医療に応用されてきた。これらの研究の蓄積は、チェルノブイリ原子力発電所事故の被曝による小児甲状腺癌の多発等の事態に対して、国際医療支援を行う上で大きく貢献してきた。核兵器によって国際的安全保障を保持している現在の世界において、また原子力発電等の核エネルギーを利用している現在の我が国においても、核と人体傷害の基礎的知識を持つことは医師としてきわめて重要である。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

核物理学の基礎的解説から始め、核兵器の構造と威力、長崎・広島の前爆の全容を示し、放射線の人体障害の基礎的メカニズムと、臨床的特徴を理解できる構成とする。さらに被爆者の後障害医療の成果を明らかにして、それが国際放射線被爆者医療にどのように生かされているか理解する。

## 3. 教科書、参考書等

各担当教官からプリント等で配付される。

## 4. 評価法

テーマを与えて、レポートを提出してもらい、A B C 3段階評価を行う。

## 5. 教員名

奥村 寛、関根一郎、朝長万左男、三根真理子、柴田義貞、難波裕幸（原爆後障害医療研究施設）

原爆医学概論授業予定（1年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	21	火	1	核エネルギーと核兵器の威力（Ⅰ）	核分裂の物理学	原研放射・奥村	第2
			2	核エネルギーと核兵器の威力（Ⅱ）	核兵器の構造・種類・威力		
6	28	火	1	長崎の原爆被害の全容（Ⅰ）	長崎の原爆	原研病理・関根	第2
			2	長崎の原爆被害の全容（Ⅱ）	放射線被ばく急性障害		
7	5	火	1	原爆後障害（Ⅰ）	白血病・癌の誘発	原研内科・朝長	第2
			2	原爆後障害（Ⅱ）	被爆者の健康管理	原研情報・三根	
7	11	月	1	国際放射線被ばく者医療（Ⅰ）	世界のヒバクシャ（1）	原研細胞・難波	第2
			2	国際放射線被ばく者医療（Ⅱ）	世界のヒバクシャ（2）	原研疫学・柴田	
7	12	火	1	人類と核（Ⅰ）	討論（テーマ）：核時代と人類	原研内科・朝長	第2
			2	人類と核（Ⅱ）	レポート作成（テーマ）：科学と人類の幸福		

# 医学は長崎から

責任者 小 路 武 彦 解剖学第三 (動的形態分子解析学)  
内線：2130 E-mail:tkoji@net.  
相 川 忠 臣 生理学第一 (内臓機能生理学)  
内線：2142 E-mail:taikawa@net.

## 1. 教育目標・方針

江戸時代、医学を志す全国の若者はこの長崎でケンペル、ツェンペリー、シーボルト、ポンペのようなヨーロッパの医学者や中国の医学者と出会い、最新の西洋医学と中国医学を学び、日本の医学の発展に寄与しました。長崎を訪れた日本、ヨーロッパ、中国の医学者はどのような夢を抱いて長崎を訪れ、何を成し遂げたのでしょうか。

「医学は長崎から」は次の2つの目的を実現するために設けられました。

1. 未来の医学を開拓する夢と気概を育む。

ヒポクラテスの箴言に医師は「過去を調べ、現在を判断し、未来を予見すべし」とあります。日本の近代医学は長崎で誕生し、全国へと波及し現在に至っているという歴史認識を新たにする講義と、現在の医学から将来を予見する講義を聞いて未来の医学はこの長崎から発展させるといふ夢と気概を育んでください。

2. 医学の偉人に学問の進め方を学ぶ。

論語には「故きを温ねて新しきを知れば以って師となるべし」と書かれています。先人の業績を調べて既成の概念を熟知し、それを打ち破るべく研究して新しい知識を創造することができれば人の師となれるという意味です。医学を開拓した先達の考え方や生き方を学んで学問の進め方や難問への対処の仕方を身につけてください。

## 2. 授業内容 (講義・実習項目)

- A. 長崎から興った日本の近代医学
- B. 医学の偉人の学問の進め方
- C. 医学の現在と未来

## 3. 参考書等

出島の科学 (生協にあります)

## 4. 評価法

レポート、出欠状況などを総合して評価する。

## 5. 教員名

齋藤寛学長、兼松隆之医学部長、ウォルフガング ミヒェル、相川忠臣、芳本忠、ブライアン バークガフニ、田口尚、篠原一之、近藤宇史、小路武彦、新川詔夫

医学は長崎から授業予定（1年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	21	火	3	南蛮医学と紅毛医学	ルイス デ アルメイダ カスパル シャンベルゲル ケンペル	ウォルフガング ミヒェル九州大学 教授	第2
			4	ツェンペリー、シーボルトとモーニッケの医学と博物学		相川忠臣教授	
6	28	火	3	近代薬学史	ビュルガー、ハラタマ、ヘールツ、 長井長義	芳本忠教授	第2
			4	養生所と日本の近代医学	ポンペ、ボードイン、マンスフェルト、 松本良順、長与専齋	相川忠臣教授	
7	5	火	3	居留地と医学		ブライアン パーク ガフニ長崎総科 大学教授	第2
			4	病理学・内科学	ウイルヒョウ、ポンペ、ボードイン、 佐々木隆興、吉田富三	田口尚教授	
7	11	月	3	Beautiful Mind(脳学)	石田昇、齊藤茂吉、高橋良	篠原一之教授	第2
			4	世界の生化学の本流と長崎の医学	Hoppe-Seyler、富田雅次、古武弥四郎、 頼尊豊治	近藤宇史教授	
7	12	火	3	解剖学の偶然と必然	前野良沢、杉田玄白、ポンペ等を中心として	小路武彦教授	第2
			4	ヒトゲノム解読と医学の未来		新川詔夫教授	
7	19	火	3	外科学・麻酔学の歴史と未来	アルメイダ、植林鎮山、華岡青洲、 ポンペ、ボードイン 外科学の現在と未来	兼松隆之医学部長	第2
			4	文明と病気	ヒポクラテス、ナイチンゲール、長与専齋、原爆	齋藤寛学長	

# 医学統計学

責任者 柴田義貞  
原研疫学（放射線疫学）  
内線：2381 E-mail:yshibata@net.

## 1. 教育目標・方針

統計学は（応用）数学の一分科でもなければ、単なるデータ整理の技法でもない。統計学は、データの科学・技術であり、「すべての判断はその根拠を問えば統計学である。」（C. R. Rao）「あらゆる科学は自覚しないで確率論を適用したものに過ぎない。確率論を排斥することは、科学を排斥することである。」（H. Poincaré）この観点から、統計的思考法の習得を目的に、医学的問題を対象として、統計学の基礎を説明する。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

先ず、質の高い医学論文を書くことはもちろん、正しく理解するためにも、医学統計学の基礎知識が必須であることを実例によって理解させ、その後はデータの記述的解析から始まって、推定、検定、相関、回帰までの統計学的基礎概念を講義形式で説明する。さらに、コンピュータを用いた統計解析の演習を行う。

## 3. 教科書、参考書等

プリントを配布し、テキストは使用しない。参考書は適宜紹介する。

## 4. 評価法

出席、講義・演習時間中に行う小テスト、レポートおよび最終試験によって評価する。具体的な評価法は、最初の授業で説明する。

## 5. 教員名

原研疫学：柴田義貞、本田純久  
原研情報：三根真理子

医学統計学授業予定（1年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	4	火	2	オリエンテーション、データの記述的解析	授業の目的・概要、データ尺度、データ分布の図的表現	原研疫学・柴田、本田	第1
10	11	火	2	確率・確率分布（1）	定義、確率の計算	原研疫学・柴田	第1
10	18	火	2	確率・確率分布（2）	条件付確率、ベイズの定理、確率分布の特性値	原研疫学・柴田	第1
10	25	火	2	確率・確率分布（3）	1次元の基本分布	原研疫学・柴田	第1
11	1	火	2	演習（1）	データの記述的解析	原研疫学・本田、原研情報・三根	情報処理室
11	8	火	2	母集団と標本（1）	標本抽出	原研疫学・柴田	第1
11	15	火	2	母集団と標本（2）	統計量、尤度	原研疫学・柴田	第1
11	22	火	2	統計的推測（1）	推定・検定の基本概念（1）	原研疫学・柴田	第1
11	29	火	2	統計的推測（2）	推定・検定の基本概念（2）	原研疫学・柴田	第1
12	6	火	2	統計的推測（3）	推定・検定の基本概念（3）	原研疫学・柴田	第1
12	13	火	2	統計的推測（4）	平均値に関する推測	原研疫学・本田	第1
12	20	火	2	統計的推測（5）	比率に関する推測	原研疫学・本田	第1
1	10	火	2	相関・回帰（1）	散布図・相関係数	原研疫学・柴田	第1
1	17	火	2	演習（2）	平均値・比率に関する推測	原研疫学・本田、原研情報・三根	情報処理室
1	24	火	2	相関・回帰（2）	単回帰分析	原研疫学・柴田	第1



# 生 物 化 学

責任者 伊 藤 敬  
生体分子解析学 (生化学)  
内線: 2160 E-mail: tito@net.

## 1. 教育目標・方針

これから医学部の専門分野で最低限必要とされる化学的知識や、タンパク質、糖質、脂質などの生体内の分子について構造や分類など基本的事項を習得し理解する。

## 2. 授業内容 (講義・実習項目)

次の項目について講義を行う。

- (1)生命に必要な元素 (2)有機化合物 (3)化学反応論 (4)有機電子論 (5)不飽和炭化水素  
(6)医薬品の化学 (7)生体分子 (糖質、脂質、アミノ酸、タンパク質、核酸)

## 3. 教科書、参考書等

- ・ヴォート生化学 (2版) 村松正實 監訳 東京化学同人
- ・レーニンジャーの新生化学 (3版) 山科郁男 監修 廣川書店
- ・基礎化学 青島 均 他編著 化学同人
- ・「生命化学のための基礎化学 無機物理化学編」
- ・「生命化学のための基礎化学 有機・生化学編」  
(M. M. Bloomfield著/伊藤俊洋ら共訳 丸善・WILEY 各 3,200円)
- ・「現代有機化学第3版 上・下」  
(ボルハルト・ショアー著/古賀憲司ら共訳 化学同人 各 6,500円)
- ・「メディシナルケミストリー」  
(山川浩司ら著 講談社サイエンティフィック 6,500円)

## 4. 試験及び評価

試験は100点満点の筆答試験を行い、60点以上を合格とする。

## 5. 教員名

生化学: 伊藤 敬  
原研生化: 近藤宇史、井原義人  
薬学部: 山田 耕史  
薬学部: 尾野村 治

生物化学授業予定（1年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	4	火	1	生命に必要な元素とその振舞い	原子の電子配置、化学結合と混成起動	薬学部・山田	第1
10	11	火	1	有機化合物の多様性	立体構造の表示と異性体の分類、命名	薬学部・山田	第1
10	18	火	1	有機化合物の振舞い	電気陰性度、酸性度、共鳴、芳香族性	薬学部・山田	第1
10	25	火	1	化学反応論	結合エネルギーと遷移状態、速度支配と熱力学支配、反応中間体	薬学部・山田	第1
11	1	火	1	有機電子論	電子の流れ図の書き方と考え方、反応の分類、極性反応、ラジカル反応	薬学部・山田	第1
11	8	火	1	不飽和炭化水素の化学	アルケン、アルキン、芳香族化合物	薬学部・尾野村	第1
11	15	火	1	含酸素有機化合物の化学	アルコール、エーテル、カルボニル化合物	薬学部・尾野村	第1
11	22	火	1	含窒素有機化合物の化学	アミン、複素環化合物	薬学部・尾野村	第1
11	29	火	1	生体エネルギー学の基礎(1)	エネルギー学と熱力学	薬学部・尾野村	第1
12	6	火	1	生体エネルギー学の基礎(2)	生物学的酸化還元反応	薬学部・尾野村	第1
12	13	火	1	生体分子の基礎知識	糖質の構造、分類、性質	原研生化・近藤	第1
12	20	火	1	〃	脂質の構造、分類、性質	原研生化・井原	第1
1	10	火	1	〃	アミノ酸と蛋白質の化学構造	生化学・伊藤	第1
1	17	火	1	〃	蛋白質の立体構造、性質	生化学・伊藤	第1
1	24	火	1	〃	核酸の一般的構造、種類、役割	熱研生化・中村	第1

# 生 物 ・ 化 学 実 習

責任者 伊 藤 敬  
生体分子解析学（生化学）  
内線：2160 E-mail:tito@net.

## 1.教育目標・方針

実験・学習に際しての心構え・態度を養い、また実験結果のまとめ方を学ぶ。各実験項目は各担当教官が設定した目標に従い、計画されているが、学生個々がこの項目の実験を行うことにより、何を学び、何を修得するのか、目標を定め実験にあたるのが極めて大切になる。そのためには、予習が不可欠であり、各項目の内容等については、予め各担当教官からの説明があるが、実習の手引を熟読して内容を理解した上で実験を行うこと。

## 2. 授業内容(講義・実習項目)

授業計画を参照

## 3. 教科書、参考書等

実験の手引を配布する。

## 4. 評価法

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。

## 5. 教員名

授業計画を参照

生物・化学実習予定（1年後期）

月	日	曜日	校時	実験項目	担当講座等・教員	教室
10	4	火	3	全体と項目1、2、3の説明	生化学	実1
			4	〃	生化学	実1
10	11	火	3	1. 蛋白質の部分精製とSDS電気泳動	生化学	実1
			4	〃	生化学	実1
10	18	火	3	2. カラムクロマトグラフィーに関する実験	生化学	実1
			4	〃	生化学	実1
10	25	火	3	3. 核酸の制限酵素処理とアガロース電気泳動法	生化学	実1
			4	〃	生化学	実1
11	1	火	3	項目4、5の説明	医動物学、法医学	実1
			4	〃	医動物学、法医学	実1
11	8	火	3	4. 免疫化学に関する実験 5. 血液型物質に関する実験	2グループに分けて実習 医動物学、法医学	実1
			4	〃	医動物学、法医学	実1
11	15	火	3	4. 免疫化学に関する実験 5. 血液型物質に関する実験	2グループに分けて実習 医動物学、法医学	実1
			4	〃	医動物学、法医学	実1
11	22	火	3	項目6、7の説明	薬理学、解剖学3	実1
			4	〃	薬理学、解剖学3	実1
11	29	火	3	6. 組織化学に関する実験(1)	解剖学3	実2
			4	〃	解剖学3	実2
12	6	火	3	7. 生物学的手法を用いる定量法に関する実験	薬理学	実1
			4	〃	薬理学	実1
12	13	火	3	項目8、9の説明	臨床検査医学、原研内科	実1
			4	〃	臨床検査医学、原研内科	実1
12	20	火	3	8. 尿、血清成分の分離・定量に関する実験	臨床検査医学	実1
			4	〃	臨床検査医学	実1
1	10	火	3	9. 組織化学に関する実験(2)	原研内科	実1
			4	〃	原研内科	実1

# 人体構造系 I

責任者 長 島 聖 司  
解剖学第二 (肉眼形態学)  
内線：2120 E-mail:nagasima@net.

## 1. 教育目標・方針

人体構造系は従来の「肉眼解剖学」に相当し、講義並びに実習を通して解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも修得する。その際学ぶ解剖学用語は、一つの概念を表現するために約束された記号であり、重視されるべきである。

骨学実習は、骨の構造を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会で、十分なる予習を必要とする。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

後期に骨学，筋学，脈管学の講義および骨学実習を行う。

## 3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
★分担解剖学1（総説・骨学・筋学）	小川鼎三、森 於菟他	金原出版	9,300 円
★分担解剖学2（脈管学・神経系）	平沢 興 他	金原出版	10,600 円
★分担解剖学3（感覚器学・内臓学）	小川鼎三 他	金原出版	8,600 円
骨学実習の手びき	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	4,000 円
分冊 解剖学アトラス I（運動器）	長島聖司 訳	文光堂	4,800 円

## 4. 試験及び評価

骨学，筋学，脈管学についての筆記試験および骨についての実習試験を行う。

- ・受験資格 講義 － 2/3以上出席，実習 － 皆出席（無届欠席は失格）
- ・分野と配点 骨学 － 100点，筋学 － 100点，脈管学 － 100点，骨学実習 － 100点
- ・試験と評価

A) 本試験（2月実施）→分野別で合否を評価

B) 再試験（3月実施）→本試験の不合格分野のみを受験。但し、本試験の得点  
↓  
点が30%未満の分野がある場合は全分野を受験。  
人体構造系 I として総合的に評価

※ 本試験，再試験とも無届欠席は失格とする。

## 5. 教官名

解剖学第二教室：長島聖司、岡本圭史、分部哲秋、佐伯和信

人体構造系 I 授業予定（1年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	3	月	3	骨学実習 1	骨学総論	解剖 2・長島、岡本 分部、佐伯	実(解)
			4				
10	17	月	3	骨学実習 2	頭蓋 1	解剖 2・長島、岡本 分部、佐伯	実(解)
			4				
10	24	月	3	骨学実習 3	頭蓋 2	解剖 2・長島、岡本 分部、佐伯	実(解)
			4				
10	31	月	3	骨学実習 4	体幹の骨	解剖 2・長島、岡本 分部、佐伯	実(解)
			4				
11	7	月	3	骨学実習 5	上肢の骨	解剖 2・長島、岡本 分部、佐伯	実(解)
			4				
11	14	月	3	骨学実習 6	下肢の骨	解剖 2・長島、岡本 分部、佐伯	実(解)
			4				
11	21	月	3	筋学 1	筋学総論、背部の筋	解剖 2・分部	第 1
			4	脈管学 1	脈管学総論、心臓①		
11	28	月	3	末梢神経学 1	末梢神経学総論、脊髄神経①	解剖 2・長島、佐伯	第 1
			4	脈管学 2	心臓②、動脈系①		
12	5	月	3	筋学 2	頭部の筋、頸部の筋	解剖 2・分部	第 1
			4	脈管学 3	動脈系②		
12	12	月	3	末梢神経学 2	脊髄神経②	解剖 2・長島、佐伯	第 1
			4	脈管学 4	動脈系③		
12	19	月	3	筋学 3	胸部の筋	解剖 2・分部	第 1
			4	脈管学 5	動脈系④		
1	16	月	3	筋学 4	腹部の筋	解剖 2・分部	第 1
			4	脈管学 6	静脈系		
1	17	火	3	筋学 5	上肢の筋①	解剖 2・分部	第 1
			4	内臓学 1	内臓学総論、消化器系①		
1	23	月	3	筋学 6	上肢の筋②、下肢の筋①	解剖 2・分部	第 1
			4	脈管学 7	胎児循環、リンパ系		
1	24	火	3	筋学 7	下肢の筋②	解剖 2・分部	第 1
			4	内臓学 2	消化器系②		